



# 善正寺だより

〒:512-0902  
 三重県四日市市  
 小杉町1014  
 浄土真宗  
 本願寺派  
 善正寺  
 ☎:059-331-1670  
 fax:059-332-0733

## 掲示板法話

### 仏さまの夢を見る

### 親鸞さまに学びたい

先日、ちよつと長い外出がたたり、腰痛を起こしました。何とか一週間ぐらいで痛みは治まったのですが、その痛みの最中に、奇妙な夢を見ました。「この病気はお隣の町のあの病院へ入院しないとだめだ。今すぐ入院だ」と医者か誰かが言い張り、私が「嫌だ、嫌だ。あの病院はクラスターが発生している。あそこへ行くのは絶対に嫌だ」と押し問答を繰り返してうなされてきた、という夢でした。



伝えられていますが、「和国の教主」

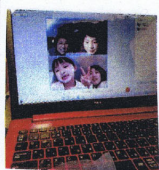
(日本のお釈迦さま)と仰ぐ聖徳太子さまの夢だと推定されるから驚きです。八十五歳、二月九日の夜明け前(午前四時頃)、夢の中に実に尊い仏さまの言葉を感じられたのです。それは、夢告誡として有名な次の御和讃です。  
 弥陀の本願信ずべし  
 本願信ずるひとはみな  
 撰取不捨の利益にて  
 無上覺をばさとするなり

無上覺をばさとするなり

〔正像末和讃〕註釈版聖典600頁  
 「阿弥陀如来の本願を信じなさい。ご本願を信ずる人は皆、撰取不捨の誓いのお蔭で最高の覺りを賜る(仏と成る)」という意味ですが、聖人は「この和讃を夢に仰せを蒙りて嬉しさに書きつけまいらせたるなり」とまで書き記しておられます。何故そこまで感動され、喜ばれたのでしょうか?

晩年(八十歳から八十四歳頃)、関東のお弟子の間に造悪無碍(悪いことをしても救いの妨げにならない、意)の異議が生じ、それを鎮静化するため派遣した長男・善鸞の逸脱行為によ

り、やむを得ず義絶(註参照)にまで至ったのです。お弟子や我が子をも救い得なかったという痛恨事にどれほどお心を痛められたことでしょうか?しかし、それから八か月ほど経った先述の夢告により、聖人は再び氣力を奮い起こされ、正像末浄土和讃、皇太子聖徳奉讃、愚禿悲嘆述懐和讃など沢山の御和讃、聖教等を精魂込めて書き続けられました。



## ★ 写真アラカルト ★



## ☆行事ご案内☆

### ◇春季永代経

3月20(土)・21(日)午後1時半

講師:森 直道先生(滋賀、初)

※お経開き(招待者)3月20日午前10時半

◇三全仏教婦人会總會 百年の歴史の仏教婦人会  
 3月20日夜7時 善正寺にて

◇三重組十三日講 3月13日前・後、西勝寺様

◇絵手紙教室 3月9日(第2火)午前10時  
 58回目、川崎光子先生、参加費500円、庫裏

◇歌声喫茶 3月18日(第3木)午後1時  
 ご都合のいい時ご参加下さい。無料19回目

◇キッズサンガ 3月6日(土)午後4時  
 6年生の卒業式、8年間通った女子に感謝!母子二代  
 続いて仏の子、夕方5時の鐘撞きは毎日、年中無休  
 一緑会テレホン法話 ☎059-354-1454

3分間で週替りの法話。三重組5か寺が担当  
 ◇善正寺ホームページ:三重善正寺で検索1年分の  
 寺報閲覧可(28年間毎月発行)、毎日更新のブログ  
 『就職と坊守のつれづれ日記』大好評!12年7カ月  
 で約34万訪問、是非一度ご覧下さい。お悩み相談可  
 法事場所でお困りの方:本堂使用可、寺に相談を!  
 納骨堂:後継者の無い方、お墓でお困りの方相談を!

### 坊守スケッチ

## 今聞いてすぐに忘れる我が身にも



亡き先代住職が「今聞いてすぐに忘れる我が身にもお六字だけは残る嬉しさ」という歌を残しました。お六字とは「南無阿弥陀仏」のことです。私はこれに続いて5番までの作詞をし、小3の孫が作曲をしてお粗末な仏教讃歌にしました。毎朝の散歩時に歌いながら歩くと、行進曲のようで元氣が出てきます。歌詞を紹介します。

- 1、今聞いてすぐに忘れる我が身にもお六字だけは残る嬉しさ
- 2、今聞いてすぐに忘れる我が身にもみ光の中に生きる喜び
- 3、今聞いてすぐに忘れる我が身にも合わす手の中に溢れるご恩
- 4、今聞いてすぐに忘れる我が身にも共に支え合うみ法の友よ
- 5、今聞いてすぐに忘れる我が身にも今朝も目覚めて歩く幸せ

小学生が鼻歌交じりで作ったメロディなので簡単に覚えやすい歌です。仏様のお慈悲を体感するのは、仏前で難しい経文を唱える時だけではありません。日々の生活の中から仏法に会う喜びを、自分の言葉で表現することも、現代に求められているものではないでしょうか？

二年後の西本願寺の親鸞聖人ご誕生八五〇年の御法要でも、新たな仏教讃歌を広く募集しています。

親鸞様は晩年になって漢字だけの経文ではなく、誰でも親しめる和讃の作成に心血を注がれ、五四〇首程お作りになりました。和讃とは漢字とひらがな交じりの歌で、七五調の今様形式をとり当時の流行り歌です。

その後二百年を経て、蓮如上人が正信偈の中に和讃を取り入れて、広く一般庶民にも浄土真宗が広まりました。今私達が平生勤める正信偈の中には、親鸞聖人から蓮如上人に受け継がれた悲願が込められています。

あなたも子や孫にあなたの言葉で、お念仏に出会った喜びを歌にして伝えてみませんか？現代にも相応しいお慈悲の伝え方があるでしょう。

### 俳壇

冬空にポール蹴る子ら声高く 釋妙水  
 七日過ぎ泣いて笑って生きる道  
 初場所やマスクをかけてインタビュ  
 戸を叩く夜半の荒風雪催い 釋楽邦  
 竹林の掠れる音や春疾風  
 一枝に連なる薔野梅かな  
 講習の母待つ児らは炬燵中 釋清風  
 寒き日や猫も仏間に鎮座する  
 十二年任期の満ちて小春かな  
 紅梅やわれの命の花のあり 釋秀龍  
 げんかんにわれ呼ぶ声と春の風  
 雪晴や一二三四とペダルこぐ

### 善坊守の青自な日記75

一月末、本願寺西山別院で一泊二日の予定で受講する善の得度講習会を、自宅でオンライン受講しました。京都にもコロナで緊急事態宣言が継続されたためです。

オンライン会議、オンライン飲み会などよく耳にしますが、まさか自分が体験するとは驚きでした。折良く自坊の本堂でもオンライン中継が可能になるように、通信回線設備やアプリの準備をしているところでした。

この度の得度講習会は、夏の得度に向け、基本的な作法や勤行の知識を習得するものです。画面越しであってもきちんと装束を整え、早朝の勤行を含む時間割に沿って進みます。私他に十名の参加者がいました。

仏教の基礎、宗制などは実際の授業と大差無いのですが、内陣出勤などの体で覚える内容はオンラインで習得するのは難しく、個人で補うことが必要です。正信偈実唱などの講師の素晴らしい声は画面越しでもよく伝わります。背筋の伸びるような思いでした。

講習会中、こっそり二階の部屋へ様子を覗いて来ていた子供達は、お手伝いを頑張ってくれたようでした。

家族に助けられながらの充実した二日間でした。支えられていることを忘れず本番にも臨みたいと思います。



### お悔み申し上げます

中島富士子様(78歳・1月18日往生、大谷台) 合掌  
 ホットニュース

※一月末、本堂に新たにWiFi設置工事をしました。コロナによって新しい情報発信の一助として、本堂から法要のオンライン中継やWeb会議(ZOOM)をするための下準備です。まだよく分からず、使いこなせていませんが、これから徐々に練習して、離れていてもお参りできて、話し合いにも参加できるようになりたいです。

※3月20日・21日(午後)の『永代経』は今のところお勤めするつもりですが、コロナの状況で変更するかもしれません。悪しからずご了承下さい。

【二面・揭示板法話・註】善鸞義絶状と言われる「親鸞聖人御消息」第9通は事件後49年を経て願智が書写したもので、他の書写も存在せず願智等門弟の偽作説もある。そこで、聖人は善鸞に「奥郡に退くよう勧めた」程度ではないか？とも考えられる。でも関東の門弟と善鸞との間の確執が激しかったことは確かで、親鸞聖人は長く苦悩されたようであった。

### ★ 編集子より ★

「善正寺だより」327号をお届けします。◇今年、聖徳太子が薨去されて1400回忌の年。「和を以て貴しとなす」と仏教精神に基づく国づくりに尽力された太子とその太子を「和国の教主」と尊崇された親鸞聖人を偲ばずにおれない。

春になったらコロナが治まるだろうという予測も空しく依然  
として予断を許しません。お寺の行事が巡って来る度に  
気を揉む日々が続きます。今のところ感染対策に万全  
を尽くして短縮版で勤めるつもりです。もし中止したら  
コロナ後のお寺と参詣者の繋がり心配です。このま  
ま自粛に慣れきって以前のような参詣は期待でき  
ないのではないかと危惧します。一般社会と同様にお  
寺もコロナをきつかりに新しく生まれ変わらねばなり  
ません。ところで節分に「鬼は外」と豆まきをしますが、  
あれは「感染症出て行け」の願いも込められているそう  
です。奈良時代には天然痘が、平安時代には麻疹、  
疱瘡、疫病が蔓延しました。鎌倉初期の鴨長明は  
「ゆく河の流れは絶えずしてしかも元の水にあらず」と日  
文記の中で無常感を著しました。天変地異による飢  
饉や疫病の流行によって大多数の人が家々を失い死亡  
しました。長明も人間の無力さを痛感しました。人は不  
幸のどん底にいる時は「助けてくれ」と大騒ぎしますが、しばら  
く経つとその恩恵も忘れてしまうのが常です。私達は過  
去の歴史に学び、治まる日が来ることを信じて、今しばらく  
我慢しましょう。戦争も感染症も乗り越えて伝えられた  
お念仏の力を信じて、ご先祖が大事にしてきたものを絶  
やすことなく、自分の生き方を見つめ直す機会にしましょう。  
目下善正寺でもオンラインによる法要や話し合いの仕方を  
準備中です。新時代に皆様と共に歩む寺でありたいと思  
います。合掌 令和三年三月 善正寺坊守拜